

平成29年第3回大仙市議会臨時会会議録第2号

平成29年11月13日（月曜日）

議事日程第2号

平成29年11月13日（月曜日）午前10時開議

- | | | |
|-----|---------|---|
| 第 1 | 議案第129号 | 平成28年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 2 | 議案第130号 | 平成28年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 3 | 議案第131号 | 平成28年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 4 | 議案第132号 | 平成28年度大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 5 | 議案第133号 | 平成28年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 6 | 議案第134号 | 平成28年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 7 | 議案第135号 | 平成28年度大仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 8 | 議案第136号 | 平成28年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 9 | 議案第137号 | 平成28年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第10 | 議案第138号 | 平成28年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告・質疑・討論・表決) |

- 第11 議案第139号 平成28年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第12 議案第140号 平成28年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第13 議案第141号 平成28年度大仙市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第14 議案第142号 平成28年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第15 議案第143号 平成28年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第16 議案第144号 平成28年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第17 議案第145号 平成28年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第18 議案第146号 平成28年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）
- 第19 議案第147号 平成28年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（決算特別委員長報告・質疑・討論・表決）

出席議員（26人）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1番 高橋幸晴 | 2番 小笠原昌作 | 3番 三浦常男 |
| 4番 佐藤隆盛 | 5番 石塚 柏 | 6番 秩父博樹 |
| 7番 挽野利恵 | 9番 本間輝男 | 10番 藤田和久 |
| 11番 佐藤文子 | 12番 小山緑郎 | 13番 小松栄治 |
| 14番 後藤 健 | 15番 佐藤育男 | 17番 児玉裕一 |
| 18番 佐藤芳雄 | 19番 高橋徳久 | 20番 橋本五郎 |
| 21番 渡邊秀俊 | 22番 佐藤清吉 | 23番 金谷道男 |
| 24番 大山利吉 | 25番 鎌田 正 | 26番 高橋敏英 |
| 27番 橋村 誠 | 28番 茂木 隆 | |

欠席議員（2人）

8番 富岡喜芳

16番 古谷武美

遅刻議員（0人）

早退議員（0人）

説明のため出席した者

市 長	老 松 博 行	副 市 長	久 米 正 雄
副 市 長	佐 藤 芳 彦	教 育 長	吉 川 正 一
代表監査委員	福 原 堅 悦	総 務 部 長	今 野 功 成
企 画 部 長	五十嵐 秀 美	市 民 部 長	佐 川 浩 資
健康福祉部長	逸 見 博 幸	農 林 部 長	福 田 浩
経済産業部長	小野地 洋	建 設 部 長	古 屋 利 彦
上下水道部長	高 階 仁	病 院 事 務 長	富 樫 公 誠
教育指導部長	伊 藤 雅 己	生 涯 学 習 部 長	安 達 成 年
総 務 課 長	福 原 勝 人		

議会事務局職員出席者

局 長	伊 藤 義 之	参 事	堀 江 孝 明
主 幹	齋 藤 孝 文	主 幹	富 樫 康 隆
主 席 主 査	佐 藤 和 人		

午前10時00分 開 議

○議長（茂木 隆） おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

欠席の届出があったのは、8番富岡喜芳君、16番古谷武美君であります。

○議長（茂木 隆） 本日の議事は、議事日程第2号をもって進めます。

○議長（茂木 隆） 議事の都合により、暫時休憩いたします。再開時刻は追って連絡いたします。

午前10時00分 休 憩

午前10時50分 再 開

○議長（茂木 隆） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

○議長（茂木 隆） 日程第1、議案第129号から日程第19、議案第147号までの19件を一括して議題といたします。

本19件に関し、委員長の報告を求めます。決算特別委員長15番佐藤育男君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい。

【15番 佐藤育男議員 登壇】

○決算特別委員長（佐藤育男） ご報告申し上げます。

去る11月7日の平成29年第3回臨時会本会議第1日において、当委員会に審査付託となっておりました議案第129号「平成28年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議案第147号「平成28年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」までの19件について、11月7日から本日までの7日間にわたり委員会及び分科会を開催し、この間、担当職員の出席を求め、監査委員の審査意見書を参考にしながら、予算が適正かつ効率的に執行されているかどうか慎重に審査をいたしましたので、審査の経過及び結果についてご報告申し上げます。

審査は、総務民生、企画産業、教育福祉、建設水道の4分科会を設置し、担当部門を決め、所管する決算について個別に審査し、疑義を質しながら軽微な改善事項についてはその都度関係職員に改善等を求めて審査を行ったところであります。

また、本日、当局の出席を求め、各分科会から審査報告を行った後、委員会として質疑、討論、採決を行い、審査結果と意見について申し上げたところでございます。

それでは、審査における意見について順次申し上げます。

はじめに、総務民生分科会について申し上げます。

1点目は、実質公債費比率、将来負担比率は、年々改善されているものの、一般財源である地方交付税の縮減が見込まれる中、特別会計繰出金の増によって経常収支比率が悪化していく傾向にある。特別会計への基準外繰入を極力抑えるほか、市債の繰上償還や借り換えなどによって財政の健全化に向けた取り組みに、なお一層努められたい。

2点目は、定員適正化計画では、平成30年度までに、普通会計職員数を726人とする目標で進んでいるが、災害対応では、市の職員が足りない状況がうかがえる。災害への機敏な対応ができる、地域の事情に精通している再任用職員の活用など、人事配置に配慮されるとともに、住民サービスの低下を招かないよう、定員適正化計画の見直しについて今後検討されたい。

3点目は、市税等の滞納整理について、鋭意努力し、収納率が向上していることは評価するが、依然として滞納者が多いので、本庁及び支所の連携をとりながら未収金の抑制に努めるとともに、滞納処分は、十分に未納者の生活実態を調査した上で実施していただきたい。

4点目は、防災ラジオは、災害情報伝達機能として有効であると思われる。その機能を全市へ普及するため、今後は全戸への無償貸与を検討されたい。

5点目は、国民健康保険事業の県単位化に伴う、市が保有する国保財政調整基金については、有効活用されるよう検討されたい。

6点目は、一般廃棄物最終処分場廃止事業については、平成26年に廃止事業計画が策定されているが、計画の確実な実施のため、必要事業費について基金造成も含めた財源対応を検討されたいとの意見がありました。

次に、企画産業分科会について申し上げます。

1点目は、地域の魅力再発見事業について、南外地域の「檜岡古城と地域創生への道」を例に、西仙北地域の亀田街道についても民有地にある杉林を借り上げ、景観の整備に努められたい。

2点目は、少子化対策の一環として効果的な「むすび・サポート事業」について、小・中規模のイベントの開催やマナー講座の開催、さらには参加者ニーズに合った対象者で開催するなど、女性が参加しやすい環境を整えるなど、手法に工夫が見られ評価できるものである。今後も、成婚数の増加に向け、出会いの場の提供について機会を増やしていただきたい。

3点目は、豪雨災害などにより側溝が詰まるなど、農地環境の改善に関する相談が多くなってきている。事業内容を事前に周知し、農業用排水路などの水路整備を進め、災害等の不測の事態に備える環境を整えていただきたい。

また、農地関係の災害復旧等については、次年度の作付けまで間に合うように、できるだけ速やかに実施していただきたい。

4点目は、鮭資源等確保活用事業に係る「ふ化放流業務委託料」及び「採捕業務委託料」について、ふ化放流事業と採捕業務の統合を行い、今後も長期的に鮭資源の増殖及び振興が図られるよう、委託先の見直しを検討されたい。

5点目は、中心市街地の賑わい創出について、旧町村の商店街も含め、様々な角度からの施策を行っているが、大きな変化にはつながっていない。市街地の活性化に資するため、効果のある事業展開を検討されたい。

6点目は、大仙市PRイベント事業における特産品販売について、イベント当日に限る一過性のもので特産品販売の促進には結びついていない。リピーターとして継続して購入してもらえるような、例えば団地周辺の会場で炊きたてのご飯の試食会を行うなどの工夫が必要ではないか。ふるさと会からの協力もいただきながら、今後の開催について工夫を検討されたいとの意見がありました。

次に、教育福祉分科会について申し上げます。

1点目は、「乳幼児保育推進事業費」について、0歳児の入所希望者が年々増加しており、保育士不足により希望する園に入所できない状況が生じているが、保育士不足となる原因である雇用条件や労働条件などの問題解決が必要と考える。

少子化対策、さらには女性が活躍できる社会作りのため、今一度経営する法人と協議・検討し、抜本的な解決策を講じるとともに、市からもさらなる支援を検討されたい。

2点目は、全国500歳野球大会は「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズが付いているが、全国には俳句や短歌などで「甲子園」をうたったイベントがあると思う。スポーツという枠にとらわれず、開催する自治体と交流し相互にPRを図ってはどうかと考えるが検討されたい。

3点目は、事業説明書の「3のCheck」欄で毎年同じような内容の記載が見受けられる。時々の情勢の変化により、問題と課題も変わってくる。そのようなことを盛り込みながら事業の経過や状況を説明する工夫が必要であると考えるので、改善を求めるものであるとの意見がありました。

次に、建設水道分科会について申し上げます。

1点目は、消雪施設等補助金は、住宅地を整備する開発業者でも申請できるが、その住宅地をいくつかの工区に分けて申請し、補助金が交付されている。工区の分け方の基準が明確でないので、補助金交付要綱を精査し、見直しも含めて要綱を整備されたい。

2点目は、社会資本整備総合交付金の交付率が年々下がってきている。この交付金を

活用して整備している仙北・太田地域の通学路歩道は、延長区間が長いため、事業の長期化が懸念される。安全・安心な通学路確保のためにも、交付率を上げるよう、国への要望に努められたい。

3点目は、公園施設で使用する機械の更新にあたり、これまで使われていた古い機械で無償で払い下げている物件がある。これら機械は、公有財産であるので、その処分にあたっては財産管理担当と協議し、適切に処理されたい。

4点目は、中古機械の購入にあたり、その購入金額が高額ではないかと思われる物件がある。新品を購入し、長期間使用した方が結果的に安価な場合もあるため、今後、中古機械を購入する際は、十二分に精査し、適正な価格で購入するよう努められたい。

5点目は、簡易水道事業、各下水道事業とも収入未済額が年々減少しており、使用料の徴収について鋭意努力されている姿が顕著に認められる。今後も引き続き、的確な収納対策を推進されたい。

6点目は、農業集落排水事業について、一部の地区で加入率が低いので、将来の安定した経営に向け、今後も未接続世帯への勧奨活動に努められたいとの意見がありました。

以上、平成28年度大仙市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の審査意見書として議長に提出をしております。

委員会において、議案第129号「平成28年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について」の質疑はなく、討論において、反対討論がありました。採決の結果、出席委員の多数をもって、本決算は認定すべきものと決した次第であります。

また、議案第130号「平成28年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」から議案第147号「平成28年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」までの18件につきましては、質疑・討論もなく、全会一致で認定すべきものと決した次第であります。

なお、当局におかれましては、これらの意見等を踏まえまして、平成30年度の予算編成への反映をはじめ、今後の各種施策の改善、また、評価された施策の推進拡大に一層努めていただくことを望むものであります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【15番 佐藤育男議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありますので、発言を許します。11番佐藤文子さん。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい。

【11番 佐藤文子議員 登壇】

○11番（佐藤文子） 私は、議案第129号、平成28年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定に反対討論を行います。

私は、平成28年度一般会計予算審議にあたって、民間委託等による経費見直しと地方交付税削減を目的としたトップランナー方式の導入や、定員適正化計画による市職員の削減と公務の公平性、中立性、安定性、継続性を歪める人事評価制度の導入など、国の地方財政計画に沿ったものであること。さらには、マイナンバー制度推進予算であることから反対を表明いたしました。本決算はその執行であり、認めることはできないのであります。

定員適正化計画が予定どおり進んでいるとされるもと、日常業務は再任用職員に頼らざるを得ない状況が進み、災害の頻発と各地の開催イベントの増加などで、職員は年次休暇はおろか代休取得もままにならない多忙化が一層進み、心身の健康状態の悪化が懸念されております。

改めて、職員削減の定員適正化計画を中止して増員を図るよう求めるものであります。

また、マイナンバー制度がスタートし2年になりますが、その利便性については、依然として実感することができず、マイナンバーカードの普及も10%にも満たない状況であります。それどころか全国ではマイナンバーを記載した住民税の決定通知書の誤送付などを原因とした漏洩事件が今年上半期に273件と、昨年同期の4倍超も発生したことも明らかになっております。

にもかかわらず安倍政権が11月からは情報提供ネットワークシステムの本格運用を始め、カード普及のための利用範囲を拡大するために多額の公費を投じようとしております。これに対して中止と検証を求める声も上がっております。

そもそもマイナンバー制度は、税と社会保障情報の一元管理で社会保障費削減を目的としておりますが、関連の個人情報既に警察捜査に利用されたことなども判明してお

ります。

共謀罪を強行されたもとでマイナンバーを通じた監視社会づくりに拍車がかかることを警戒する声も強まっております。

改めて、国民の利益にならない制度は廃止すべきだと考えております。

以上、一端を述べて反対討論を終わります。

【 1 1 番 佐藤文子議員 降壇】

○議長（茂木 隆） ほかに討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） これにて討論を終結します。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第129号を採決いたします。この採決は起立をもって行います。本件に対する委員長報告は認定であります。本件は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者23人 起立）

○議長（茂木 隆） 起立多数であります。よって本件は、認定することに決しました。

次に、議案第130号から議案第147号までの18件を一括して採決いたします。本18件に対する委員長報告は認定であります。本18件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本18件は、認定することに決しました。

○議長（茂木 隆） 以上で、本臨時会の日程は全て終了しました。

これにて平成29年第3回大仙市議会臨時会を閉会いたします。

大変ご苦勞様でした。

午前11時10分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会議長

議 員

議 員

議 員